

■デマや噂に惑わされないで……！
各国のリーダーは、このコロナ禍を戦争と捉えています。国民も有名コメディアン志村けんさんが亡くなられたことで、ようやくこのウィルスの本当の恐ろしさに気づいた感じがします。一部の既存薬に治療効果があるとされていきますが、心から安心するためにはワクチンの完成が必要だと思います。

そのうえで、このウィルスがもたらすもう一つの脅威をあげると、それは社会のヒステリー化です。特に、ヒステリー化によるパニックは恐怖です。ありまです。デマの流布や心無い「魔女狩り」により引き起こされるヒステリーはなんとか回避しなければなりません。

■不安解消のために
市は、市民の皆さんの不安を少しでも解消しようと、日頃の注意喚起はもちろんです。できる取り組みを順次行っています。たとえば、マスクや消毒液のような入手困難となっている感染防止対策用品のうち、準備できるものはこれを準備し、提供したいと考えています。

その一つが消毒液の無料配布です。幸いなことに、市内には除菌水を生成する装置「ビーコロン」を製造・販売する企業があります。これまでも市は食中毒予防のために給食調理場で同装置を使用していました。この度、市はビーコロン3

危機を理解する

台を新たに購入し、市内3公民館で生成した除菌水の一般配布を始めました。

■発想の転換が必要
今回のコロナ禍は、従来の経済危機とは全く異なります。これまでの経済危機は、消費を促すことで克服してきました。しかしながら、今回の危機は需要の落ち込みによるものではないために単なる景気刺激策では何ともなりません。

つまり、これまでは交流人口の拡大という言葉にみられるように、ヒトとモノの流れを作ることでお金の循環を生み出してききましたが、今回は全く違い、ウィルスの拡散を防ぐためにヒトの流れを抑え込まなければならないのです。

IMFの専門家も述べていますが、私たちはこのコロナ禍を2つの段階に分けて考えなければなりません。第1段階は「感染症が猛威を振るっている時期」、第2段階は「ワクチンや治療薬が登場し感染が制御できるようになった時期」です。

今は第1段階です。すべきことは感染拡大の防止です。この段階では経済活動は大幅に制限されるのです。

ポイントは第2段階です。この時期は回復期でもあります。経済対策が効果を発揮する時期です。この時に注意しなければならぬのは、第1段階の時にどのような対策がとられたかです。前述の専門家は、「回復期のペースが成功と呼べ



にかほ市長
市川雄次

るものになるかを決定づけるのは、危機の最中である第1段階での取り組みにある」と述べています。具体的には、①雇用が守られているか、②事業者が賃貸物件から立ち退かないでいられるか、③会社が破産しないですむか、④産業のネットワークが維持されているか、の4つの視点です。

今回の危機は持久戦です。自助努力だけでは乗り切れない人たちもいます。前にも述べたように、飲食店や小売店は市民にとっての社会資源の一つです。仮に、コロナ禍が終息し「さあ、これからだ」となった時に、プレーヤーがいなくなっていたらプレーはできないのです。必要なのはスピード感あるピンポイント支援です。従来ならば、行政による自営業者への支援は難しいものがありました。しかしながら、今回のコロナ禍では発想を転換させなければならぬと私は考えています。



にかほ
biz
まるっと!
vol.15

三浦電子株式会社

■未来創造企業
殺菌性電解水のパイオニア
強力にサポートします
■食の安全や感染症対策を

当社は他に先駆け、水の電気分解を利用して強酸性電解水および電解次亜水の生成装置を開発し製品化した会社です。

強酸性電解水生成装置「オキシライザー」は、にかほ市で産声をあげた秋田発、世界初の電解殺菌技術です。市内の公共施設にも設置されていて、生成される電解水は日頃から市民の皆さまにもご利用いただいています。

少し機能の異なる電解次亜水生成装置「ビーコロン」は、代理店を通じ、首都圏を中心に全国の学校給食施設や病院、介護施設、保育所、飲食店等に数多く導入され、食中毒や感染症対策といった衛生管理に広く活用されています。現在は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり各所から問い合わせが相次いで、社員一丸となって対応しています。部品が十分に届かず市場のニーズに答えられない状況が続いています。

食の安全や安心、感染症対策がクロージングアップされる中、今後電解水を利用した衛生管理の需要は益々増えていくものと思われまます。当社では、新製品を開発する技術者、製品づくりに携わる人材を広く募集しています。人と環境にやさしい価値ある製品づくりに私たちが一緒に携わってみませんか。

企業情報

当社は、研究開発から製造、販売を一貫して行うことにより、新しいアイデアとこだわりを形にしています。自社で製品構想や設計、試作、評価を行い関連機関の評価を受けた後、カタログと取扱説明書の作成、製造と検査を経て販売代理店やOEM提携先を通して商品を市場に供給しています。本社および東京営業所では、販売代理店やOEM提携先、製品、展示会等のサポートを行っています。

1987年、初めて電解技術に取り組んでから今年で33年。学会デビューや医療用具認可、特許登録、食品添加物（殺菌料）、特定農薬（特定防除資材）指定とチャレンジを続けて現在に至っています。

- ▶所在地 にかほ市平沢字堺田 16-4
- ▶業種 製造業(電気機械器具)
- ▶主な業務 電解機能水生成装置および関連機器の開発・製造・販売
- ▶従業員数 20人
- ▶電話 0184-37-3141
- ▶e-mail soumu@miura-denshi.co.jp
- ▶ホームページ http://www.miura-denshi.co.jp



※現在、市では「ビーコロン」を仁賀保・金浦・象潟公民館に設置し、電解次亜水(除菌水)を無料で配布しています。ぜひこの機会にお試しください。



市では、「にかほbizまるっと！」に掲載する事業所を募集しています。若者や女性の採用に積極的な事業所やイチ押しの魅力などを持っている事業所を紹介いたします。詳細は市ホームページをご覧ください。商工政策課(☎43-7600)までお問合せください。

